



(題字 故吉岡名誉顧問)

第99号令和3年6月 発行

東大阪市手をつなぐ育成会
(年 3回)

総会を終えて

会長 坂本 ヒロ子

皆さん、コロナ禍いかがお過ごしですか？

二度目の新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言発令により、今年の総会も書面となりました。総会議決数ですが、会員数206人の内(とうふく保護者会42、第二東福保護者会16、とうふく布施保護者会31、東福六万寺家族会24、就職在宅部会5)合計118人で成立、承認されました。ご協力ありがとうございました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症により予定していた研修会、施設見学会そして本人たちが楽しみにしていたレクリエーションも中止せざるをえませんでした。しかし、何より残念だったのは開始予定だった知的障害者の理解啓発「ともにて」による活動の自粛でした。新型コロナウイルスのワクチン接種がすすみ終息した後、再開したく思います。

今年度も活動計画にそって活動していきたいと思っておりますが、制限はあるかもしれません。そのような中でも、東大阪市へ「知的障害者とその家族に対する支援策について」の要望活動と東大阪市で開催される第60回近畿知的障がい者福祉大会、第62回大阪知的障がい者福祉大会(東大阪市)併催の協力は大切な活動だと思っています。今年の大会はコロナ禍ですので新しい形になりますが、是非成功させたいと思います。

なお、東大阪市での大会開催は19年ぶりです。
大会案内を3、4ページに掲載しましたので、参加ご希望の方はお申込み下さい。

私は知的障害者の代表として当事者団体の代表として東大阪市の障害福祉施策に関する 社会福祉審議会、障害者計画策定合同会議、自立支援協議会、障害者差別解消地域協議会、成年後見利用促進協議会、成年後見サポートセンター、障害支援区分認定審査会、医療的ケア児支援会議等の委員として会議に出席しています。その中の2つの会議についてご報告いたします。

第4次東大阪市障害者プラン(令和3年度～令和11年度) 第6期東大阪市福祉計画(令和3年度～令和5年度)

昨年は、障害者基本法に基づく『第4次東大阪市障害者プラン』(令和3年度～令和11年度)障害者総合支援法による『第6期東大阪市障害福祉計画』『第2期東大阪市障害児福祉計画』(令和3

年度～令和5年度)が策定されました。

第3次(平成16年度～令和2年度)は、「お互いの個性を尊重し、安心して自立した生活のできる完全参加と平等のまち・東大阪の実現」から第4次は「地域共生の実現」に向けお互いの個性を尊重し安心して自立した生活のできる完全参加と平等のまち・東大阪」のため

権利の主体としての障害者の尊厳の保持

当事者本意の総合的な支援

ともに生き、ともに支え、支えられる地域共生社会の実現

社会のバリアフリー化の推進

差別のない社会の実現

多様な主体による協働の推進の基本的視点で取り組むことになっており

施策の体系を

①啓発交流の促進と尊厳の保持

②地域での生活支援の充実

③文化・スポーツ活動等の推進

④生活環境の整備の推進

⑤教育・療育の充実

⑥雇用就労支援の充実

⑦保健・医療の充実とし、第3次障害者プランを振り返り、その課題を解消するために継続拡充して施策が推進されます。

<<わしくは東大阪市のHP 障害福祉 取り組みから見ることができます。>

東大阪市成年後見制度要促進協議会設置 — 東大阪市成年後見サポートセンター開設 —

第4次東大阪市障害者プラン施策の体系の一つ

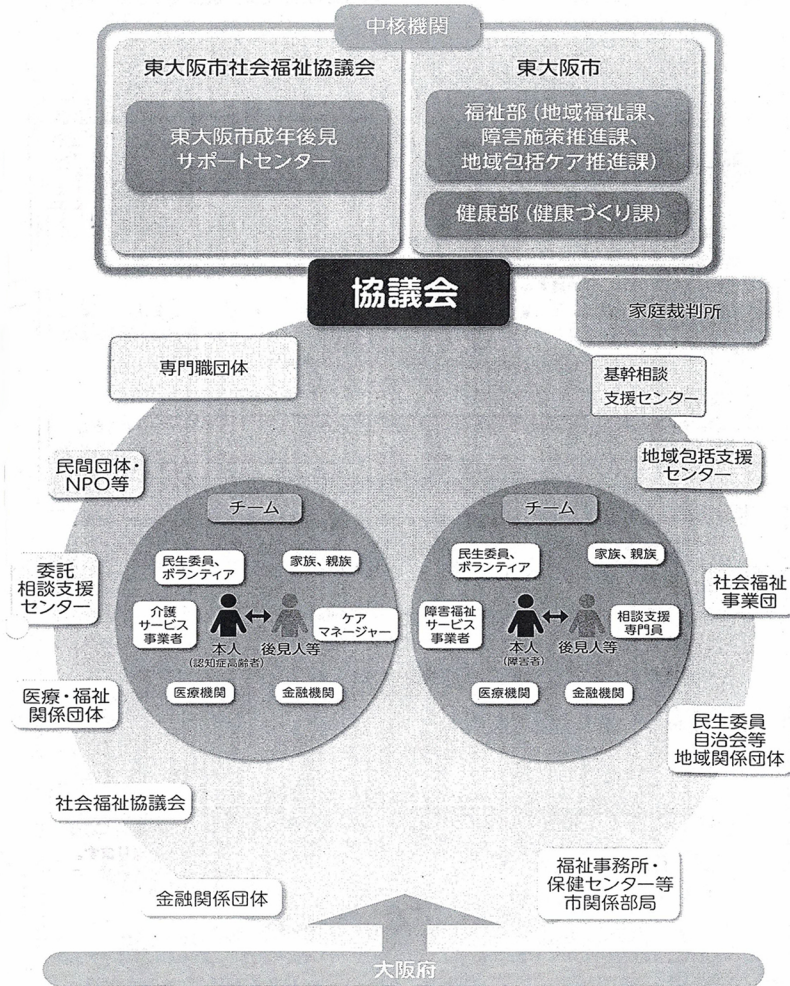
①啓発、交流の促進と尊厳の保持の中に成年後見制度利用支援事業等の事業があります。

これは成年後見制度が十分に利用されていなかった状況から「成年後見制度の利用の促進に関する法律」に基づいて各市町村で成年後見制度の利用促進にかかる基本的な計画を策定するよう努めることとされ、東大阪市においても取り組み、令和元年設立準備会が立ち上がり、令和3年4月1日「東大阪市成年後見制度利用促進協議会」が設置されました。

また、令和3年1月15日成年後見制度を適切に利用できる仕組みづくりと関係機関のネットワーク化を進めるため、東大阪市社会福祉協議会内に「東大阪市成年後見サポートセンター」が開設されました。

これから、東大阪市では判断能力、契約行為、財産監理に不安があり成年後見制度の活用を検討されている障害のある人は

まず、お近くの委託相談支援センターで相談して下さい。



近畿手をつなぐ育成会連絡協議会60周年記念
第60回近畿知的障がい者福祉大会・第62回大阪知的障がい者福祉大会併催

1. お誘い

近畿各府県市の手をつなぐ育成会が結束して60年になります。昨年からは世界中は新型コロナウイルス感染症に覆われ、「孤立」や「不安」や「虐待」などに社会的に弱い立場の人々が襲われています。このような中だからこそ、手をつなぐ育成会の活動の中で培われてきた「見守り」や「寄り添い」「つながり」の力が必要になっています。

そこでコロナ禍の中ではありますが、ウェブの力を活用して「新しい大会の姿」を実践することにしました。基本的な感染症対策をしっかりとりつつ、大きな会場でコンパクトに仕上げ、会場に来れない方々には手元の機器にネット中継します。全盲の中学生ドラマー酒井響希さんとお母さんを会場に迎え、素晴らしい演奏と支えあう親子の姿を披露していただきます。コロナ禍で広がった「パプリカ」の曲もお楽しみください。

これまでの育成会の歩みを振り返り、さらにその先を展望する記念大会を開催します。

2. 大会主題

コロナ禍だからこそ、今 手をつなぐ、響く、支えあう
—新しい大会の姿とつながりを模索して—

3. 対象 知的な障がいのある本人および家族、一般市民、会計期間・団体等の職員、その他約1500名（うち会場参加300名 本人トーク30名）

4. 日時 令和3年9月26日（日） 午後0時45分から午後4時まで

5. 会場 東大阪市文化創造館

6. 日程

0:15 受付開始

0:45 ドラム演奏 酒井響希さんとそのお友達

お話 母親の康子さん

インタビュー マネージャーの新家さん

酒井響希（さかい ひびき）くんは、東大阪市出身の中学3年生です。

2歳の時に、両眼性網膜芽細胞腫という小児がんが見つかり、両目の摘出手術をしています。3歳の時に響希くんが出会ったのが、「音楽」でした。

お父さんがドラムの前に連れて行くと、大喜びで叩き始めたようです。

響希くんは様々な人たちと共演をし、2018年の24時間テレビでは、XJAPANのYOSHIKIさんとの共演を果たしました。

オリンピック・パラリンピックの応援歌を歌うために結成された5人組の子どもユニットフーリン。障害や病気を持つ子どもたち10人が加わった「フーリン楽団」が結成されました。響希くんも打楽器隊として参加しました。

1:55 講演 新しい全国手をつなぐ育成会連合会の船出 2年目からこれから
一般社団法人手をつなぐ育成会連合会 会長 久保 厚子さん

3:00 式典 主催者あいさつ／表彰／ご祝辞／

本人トークの報告／大会宣言／次期開催案内（奈良県堺市）

終了予定 3:45

本人トーク（0:45～2:45まで） 東大阪市文化創造館 会議室

「合理的配慮」 大阪流 あるとき！ ないとき！（仮題）

7. 参加費 無料（資料は専用サイトからダウンロードしてください。）

参加申込み（令和3年8月23日（月）締め切り）

参加申込みは東大阪市手をつなぐ育成会でまとめたいと思います。

・東大阪市文化創造館で参加希望の方は東大阪市手をつなぐ育成会に連絡下さい。

（東大阪市手をつなぐ育成会会員の方は、各保護者会会長、家族会会長、就職在宅部会長にお申込み下さい。）

・本人トークに参加希望の方は、別に参加申込書の提出が必要ですので連絡下さい。

東大阪市手をつなぐ育成会連絡先

相談室『希い（ねがい）』

留守番電話 072-983-7685 ファックス072-983-7685